

国民健康保険事業の運営については、国保特別会計の赤字が続いているため、令和7年度も厳しい国保財政が続くと想定されます。給付と負担のバランスを図りながら、沖縄県国民健康保険運営方針に示された市町村の役割をしっかりと担い、県と連携し安定的な運営に取り組んでまいります。

農業振興については、農地の保全や土壤改良・地力増強を促進するための土づくり奨励補助を継続します。また、かばちゃんの増産支援としてミツバチ巣箱の設置や農業経営の安定を図るための農業者肥料購入支援事業などを実施し、農業経営基盤の強化に努めます。

土地利用関係では、南風原南インター・エンジ周辺照屋地区の土地区画整理組合設立に向けて、地権者組織の支援と、都市計画法関連手続きを平行して進めます。また、津嘉山地区についても事業化を検討します。

交通計画については、総合交通戦略に基づき、生活道路や通学路における安全対策に取り組みます。また、交通モビの実証運行について、検証結果を踏まえた改善を図り、持続可能な公共交通としての取組を継続します。

## 健全な行政運営について

とともに、新規雇用創出事業補助金の給付等を通じて、新規就農者の担い手育成に取り組みます。

畜産振興においては、経営利用経費に対する補助を通じて生産振興を図ります。畜産振興を自転車で運営方針に示された市町村の役割をしっかりと担い、県と連携し安定的な運営に取り組んでまいります。

公害・環境保全対策事業による支援を継続するとともに、粗飼料価格高騰対策臨時支援事業や家畜伝染病予防事業などの支援にも取り組みます。

商工振興については、物価高騰対策として、町民1人あたり2千円の商品券を配布する物価高騰生活者支援事業を実施し、生活支援及び地域産業振興を図ります。また、商品展開力強化支援事業を通じて特産品のプロモーションや販路構築、顧客基盤の形成に町商工会と連携して取り組みます。さらに、町内中小企業の経営基盤強化を図り、本町へ

従事者の養成と若者の感性を活かした後継者育成に取り組みます。また、県内外での展示即売会や各種イベントでのPR活動についても、琉球紺事業協同組合と連携して進めてまいります。

防災体制の強化については、地域防災計画に基づき、町が主体となって実施する総合防災訓練に加え、各字・自治会における自主防災組織の結成及び活動を支援し、講じます。

防災体制の強化については、地域防災計画に基づき、町が主体となって実施する総合防災訓練に加え、各字・自治会における自主防災組織の結成及び活動を支援し、講じます。

防災体制の強化については、地域防災計画に基づき、町が主体となって実施する総合防災訓練に加え、各字・自治会における自主防災組織の結成及び活動を支援し、講じます。

防災体制の強化については、地域防災計画に基づき、町が主体となって実施する総合防災訓練に加え、各字・自治会における自主防災組織の結成及び活動を支援し、講じます。

防災体制の強化については、地域防災計画に基づき、町が主体となって実施する総合防災訓練に加え、各字・自治会における自主防災組織の結成及び活動を支援し、講じます。

3月4日に行われました南風原町議会定例会の冒頭で、町長が施政方針を表明しました。また、施政方針は町ホームページでも確認できます。ホームページ上部にあるページID検索バーからページIDを入力して検索してください。

<https://www.town.haebaru.lg.jp/soshiki/5/2147.html>



施政方針表明の様子  
(赤嶺正之町長)